

10月28日、「第3回市民参画センター交流まつり」が開催されました。

平成12年10月に、弘前市の男女共同参画推進の拠点施設として誕生した市民参画センター。利用者は毎年約3万人近くに上ります。交流まつりは、ふだんセンターを利用している団体が実施委員となり、自分たちの活動を市民に広く紹介し、交流を図るために年1回開催されるイベントです。毎回趣向を凝らした催し物が企画されます。

今年は、NHK弘前支局長の山本和之さんによる記念講演「忍耐の、その先に!!」で幕を開けました。

山本さんは貧しい生活から生まれた津軽女性の手仕事「こぎ



記念講演は超満員

新弘前市誕生記念 第3回 市民参画センター交流まつり 開催



エコクラブの小学生による
酸性雨測定実験

「男性のように利益率を追求するのではなく、穏やかな日常を追求できるのが女性の良さ。男性と肩を並べて働くことがすべてではなく、生活者の視点から命を育み、平和を守る活動を続けることも社会参画のひとつのあり方」と、男女共同参画社会についての考えを述べました。

記念講演に引き続き、絵本の朗読劇、人権や環境問題を考えるビデオ上映、活動のパネル展示や工芸品の販売などさまざまな催しが行われ、多くの来場者でにぎわいました。



最後はみんなで大合唱



福祉施設の手工芸品や
園芸作物も販売



さまざまな団体が活動をパネルで紹介

11月25日(土)、弘前市主催「ひとにやさしい社会推進講演会」が弘前市五所の中央公民館相馬館で開催されました。

前半は「気づきからの始まり」視点を変えると自分かわる」と題して、川口浩一さん(ATVアナウンサー)が講演。「女性の地位向上や雇用機会の均等などの女性問題は、よく考えてみると、男性のことを考えることになり、女性が差別される社会は、男性をも差別していると気づいた。自分が楽しくいきいきと暮らすには、差別のない社会を自分の周りに築くことが必要」と話しました。

また後半では、生活の見直しや改善をすすめる活動をしている柴祐子さん(弘前友の会)と、子育て支援活動をしている安田雪子さん(ゆうゆう童夢)が活動内容を発表しました。

楽しくいきいき暮らすために



「自分にできることは何？」

弘前文学学校 事務局 渋谷江津子さん



勉強風景、皆が真剣です



か、人間が生きているのに一番大切なものは何か？」などなど。年々目まぐるしくなる社会ですが、じっくり物を考え、活字にできる場を作りたいと考えました。

※平成11年～15年の5年間、弘前市主催で男女共同参画社会の推進を目指し、女性のエンパワーメント（力をつける・引き出す）のための機会を提供することを目的として開設された。

◆活動内容は？

5人の専任講師と5人の特別講師がいます。文章の書き方はもちろん、生き方、物の考え方などを学んでいます。年1回のレクリエーション（海か山）では親睦を深めています。最後には作品集を出版し、文芸コンクールでは毎年多数の方が入選しています。

◆会員、あるいは仲間を募集していますか？

正式には、年度初めに募集しますが、入学はいつでもOKです。現在は約25人が学んでいます。10代から80代と年齢層も幅広く、様々な職業の方もいて、出会いからも学ぶことがたくさんあります。いい出会いが人生を豊かにしてくれています。

◆今後の抱負は？

「文学学校に入って本当に良かった」と言ってもらえるような学校にしていきたい。「文は人なり」と言います。自分を磨くことが人を感動させる文章を書くことに通じていくと思うので、常に切磋琢磨していける環境を提供していきたいです。

◆最後にひと言！

「男女共同参画社会」とはど



真夏なのにバックは南極？
まさに白岩です



入賞記念にパチリ

◆「弘前文学学校」をつくったきっかけは？

弘前きらめき女性塾[※]を終え、自分にできることは何か？と考えました。「男も女も自立するには精神的自立が大事。そのために、自分というものをしっかり知る必要がある。自分はどこから来て、どこへ行くのか、今自分はどこに立っているのか、

◆弘前文学学校とは？

小説、詩、エッセイ、自分史の書き方を基本に、文学的教養、そして、どう生きるかまで学ぶ学校です。

活動日時

日時・毎月、第一、第二、第三金曜日、

夜6時30分から8時30分

場所・市民参画センターを主な会場として
います

《連絡・問い合わせ先》

弘前市広野1-3-23

TEL 0172-88-2427

(渋谷)

男女雇用機会均等法が改正されます

— 平成 19 年 4 月 1 日スタート —



職場に働く人が性別により差別されることがなく、また、働く女性が母性を尊重されつつ、その能力を十分発揮することができる雇用環境を整備するため、**性別による差別禁止の範囲の拡大、妊娠等を理由とする不利益取扱いの禁止**等を定めた改正男女雇用機会均等法がスタートします。

改正のポイント

1. 男女雇用機会均等法関係

- (1) 男女双方に対する差別禁止、間接差別禁止等性別による差別禁止の範囲の拡大。
- (2) 妊娠、出産等を理由とする解雇に加え、不利益取扱いの禁止を新設。
- (3) 職場におけるセクシュアルハラスメント防止対策の拡充。
→従来の配慮義務を措置義務に拡充し、男性労働者も防止対策の対象に。
- (4) ポジティブ・アクション（女性労働者の能力発揮を促進するための積極的取組）を行う事業主が、その実施状況を開示する際に国が援助できる旨追加。
- (5) 企業名公表や個別紛争解決援助制度の対象となる。
→上記（1）、（2）、（3）に加え、母性健康管理についても、企業名公表及び調停等紛争解決援助制度の対象となる。
- (6) 均等法に基づく報告をしない又は虚偽の報告をした事業主に対する過料の創設。

2. 労働基準法関係

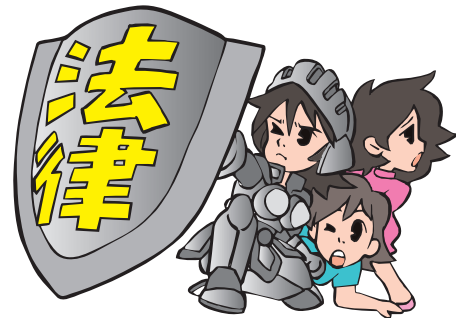
女性の坑内労働について、女性技術者が管理・監督業務を行えるよう、規制を緩和。

問い合わせ先

1. 男女雇用機会均等法関係…**青森労働局雇用均等室**
(TEL 017-734-4211)
2. 労働基準法関係…**青森労働局労働基準部監督課**
(TEL 017-734-4112)

※詳しくは厚生労働省ホームページ

(<http://www.mhlw.go.jp/>) でもご覧になれます。



弘前市民参画センター

利用場所	年度別	利用者数	
		17年度	16年度
グループ活動室（有料）		13,160	12,867
ふれあいホール等（無料）		12,335	15,271
利用者数計（小計）		25,495	28,138
見学者		29	88
合 計		25,524	28,226

↑ 市民参画センター利用者数

平成 17 年度 利用状況報告



↓ 活動室利用目的別件数・人数

利用目的	公共団体		一般団体		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
会議	12	270	349	4,535	361	4,805
講習会・研修会・勉強会・講座	8	210	535	6,902	543	7,112
講演会・フォーラム	6	270	2	70	8	340
その他	11	700	17	203	28	903
合計	37	1,450	903	11,710	940	13,160

↓ レターケース・団体用ロッカー利用件数

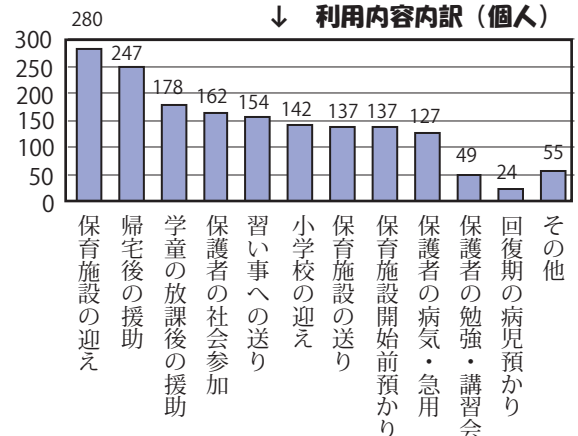
レターケース（無料）	64	団体用ロッカー（有料）	22
------------	----	-------------	----

さんかくネット

利用 件数	17年度		16年度	
	件数	子どもの数	件数	子どもの数
個人	1,213	1,411	1,253	1,438
団体	50	385	57	399
計	1,263	1,796	1,310	1,837

↑ 利用件数・人数

↓ 利用内容内訳（個人）



《弘前子どもを守る会》

かけがえのない存在を守るために

今から7年ほど前、神戸で中学生が障がいを持つ小学生の命を奪うという衝撃的な事件があった。そしてその後、16歳の思春期に入った青年前期の悲しい事件が続いた。その頃、私たち大人にできることは何だろうと考え込まされた。

かけがえのない存在である一人ひとりの子どもたちを守るために、何をしたらよいか、子育ての不安や悩みを抱える父母や先生方の知恵と力を寄せ合う継続的な集まりを持とう、と有志26人が呼びかけ人となって、2000年子どもの日、5月5日にアピールを出し、30余名で結成総会を持った。子どもの発達・不登校・いじめ・学力・テレビゲーム・父母と学校の関わり方・よい文化を広める・平和のことなど多岐にわたって例会や講演会を持って今日に至っている。

現在会員60名ほど。今年の大きな企画はドキュメンタリー映画「こんばんは」上映。300人の観客に深い感動を与えた。子どもにとって、学校とはどうあるべきか。生きる勇気と学ぶ喜び、^{はぐく}ええ合い励まし合いながら、子どもたちに希望を育んでいく教育の在り方など、混迷する社会の中で、この夜間中学の姿は、大きな導きの灯といってよかった。

現在、1月末の小さな例会の準備を進めている。
^{ラヴ・アンド・ピース}愛と平和の眼で足許を見つめることの大切さがテーマになっている。

会長 佐藤豊彦



に、参
いま、会
コーの
ラス者
など心
も行が
はと和
うむ
よう

編集後記

前号から、参画だより作成の際に使用するソフトを新しくしました。より見やすく充実した誌面にするために、今後も努力していきます。また、記事として紹介してほしい人や話題などがあれば、下記連絡先までどんどんお寄せください。みなさんからの参画だよりについてのご意見、ご感想をお待ちしています。

CON

弘前市民参画センター

編集 メディア部会

〒036-8355 弘前市元寺町1-13

TEL 0172-31-2500

FAX 0172-36-1822

開館時間 9:00 ~ 22:00

休館日 12月28日 ~ 1月3日

本の紹介

タイトル

『世界がもし100人の村だったら』

世界が100人だったら、
女性52人、男性48人

再話 池田香代子 対訳 C.ダグラス・ラミス

発行所 マガジンハウス



2001年、世界中を感動でつつんだインターネットの民話があった。インターネット・フォークロア(インターネット上の民話)「ネットロア」という。これは日本で広まった「ある学級通信」というネットロアを1冊の絵本にまとめたものである。

2001年3月、ネットロア「グローバル・ヴィレッジ」をアメリカの友人から英語で受け取った中野裕弓氏がそれを訳して口語で伝えたり、ネットに流したりしたものが「ある学級通信」に姿を変え、同年9月以降急速に広まったという。

「世界には63億人の人がいますがもしもそれを100人の村に縮めるとしたらどうなるでしょう。」「100人のうち52人は女性で48人が男性です。」「30人が子どもで70人が大人、大人のうち7人がお年寄りです。」というように進んでいく。自分が100人のうちのどこに位置しているのかを知ると同時に、世界には「家がない人」、「字を読めない人」、「食べるものがない人」たちがたくさんいることが分かる。

親子で絵を見ながら読むのもよし、悲しいとき、寂しいとき、嬉しいときに読むのもよし。読むたびに新しい発見があり、考えさせられる。この本に登場する数字はメール版とは異なる部分があるとのこと。2001年現在の各種統計、年鑑、各専門機関に照らし合わせ、より近い数値に修正しているという。

後半の解説の部分では、中野氏が日本語に訳した全文も掲載され、もともとのオリジナル「ザ・グローバル・シチズン 村の現状報告」と日本にたどり着いたネットロアを対比させ、その違いも解説されていて、興味深い内容になっている。

現在『世界がもし100人の村だったら4』まで発行されている。

by Komori

世界がもし100人の村だったら「オフィシャルサイト」

<http://www.magazine.co.jp/100people/>

お知らせコーナー

★新弘前市誕生記念 ひとにやさしい社会推進講演会
「気づきからの始まり」～視点を変えると自分がかかわる～

講師：川口浩一さん(A TVアナウンサー)

日時：平成19年2月24日(土) 13:30 ~ 15:30

場所：中央公民館岩木館大ホール

入場料：無料

託児室：準備します(事前に申し込みが必要です)

主催：弘前市

問合せ先：弘前市民参画センター (TEL 0172-31-2500)

地域活動の発表

★男女共同参画推進のための講座

「企画・運営方法を学ぶ」

講師：下村美恵子さん(さいたま市男女共同参画センター)

日時：平成19年2月10日(土) 10:00 ~ 16:30

場所：弘前市民参画センター 3F

入場料：1000円

定員：20名

主催：じゃんだあ学習グループ~きづき~

問合せ先：千葉さん (TEL 0172-27-5780)

チラシの作り方

講師の選任・交渉

今号から、男女共同参画推進のために活動しているグループからのお知らせも掲載することになりました。次号は3月中旬の発行予定です。掲載希望の場合は当センターまでご連絡ください。(誌面の都合により掲載できないこともあります。)